

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報  
平成25年度第2四半期（平成25年7月～9月）

1. 治安情勢及び一般犯罪情勢

(1) 治安情勢

ア 管轄州全土において継続的にテロ警戒警報が出されている。ビハール州ボドガヤにおいて7月に発生した連続爆弾テロを受けて、ムンバイ市内においても重点的に警戒措置が取られた。

また、9月20日、2008年にグジャラート州アーメダバードで発生した爆弾テロに関与した容疑で逮捕されていたインディアン・ムジャヒディンのアフザル・ウスマニ被告が審理のため移送されてきたナヴィ・ムンバイ市内の裁判所から警護の隙をついて逃走した。治安機関はなおも同被告の行方について捜索中である。

イ 治安部隊とナクサライトとの武力衝突については、マハーラーシュトラ州においてナクサライト6人が死亡（7月7日）、チャッティースガル州において州政府関係者親族がナクサライトにより殺害（7月31日）、武力衝突で治安部隊3人、ナクサライト1人が死亡（8月13日）、特殊部隊司令官及び兵士1人が死亡（8月27日）等、未だ政情不安定な状況がみられる。

(2) 一般犯罪

8月22日午後7時ごろ、ムンバイ市内にある元工場跡地で、内部を写真撮影するため訪れた20代女性及び男性1名が5人組の若者らに襲われ、女性は集団強姦される被害に遭った。容疑者5人は25日までに全員逮捕された。現場周辺は大型ショッピングモール、ホテル、高級フラットが立ち並び、在留邦人をはじめ外国人観光客が多数集まる商業地区に隣接している。通常、周辺での移動は車両で行い、夜間に立ち入るような場所ではないが、地元メディアは終日現場から報道を続け市民に多大な影響を与えた。

また9月5日、ムンバイ市南部で40代女性が歩行中に20代男性に殴打され、続く13日早朝、ウォーキング中の女性がバイクに乗った2人組に携帯電話をひったくられた。女性は負傷し病院へ搬送された。現場は市内有数の観光名所である「クイーンズネックレス」と呼ばれるアラビア湾に面した海岸通りにあり、昼夜を問わず多数の人が集まる憩いの場として、女性にとっても比較的 안전한場所であるがこのような事件が連続して発生しており、注意が必要である。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

邦人被害の事件は認知していない。

(2) 強盗

邦人被害の事件は認知していない。

(3) 強姦

邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、テロ・爆弾事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、テロ・爆弾事件の発生はなかった。

5. 対日感情

対日感情は良好である。